Window11 24H2 更新後、共有フォルダにアクセスできない

内容と原因

Windows11のアップデートで24H2に更新をすると、PCのセキュリティが強化され、 一部の環境下で共有フォルダのアクセスが出来なくなる事があります。

組織のセキュリティ ポリシーによって非認証のゲスト アクセスがブロックされている ため、この共有フォルダーにアクセスできません。これらのポリシーは、ネットワーク 上の安全でないデバイスや悪意のあるデバイスから PC を保護するのに役立ちます。

Windows11のアップデートの影響で既定のセキュリティが強化されたため、接続先との認証(ゲストアクセス)が制限されています。 接続をする為には、更新で変更になった部分を元に戻す必要があります。

変更方法

1. スタートボタンを右クリックをして(ファイル名を指定して実行)をOKを選択します。 ※キーボードの[Windows]キーを押しながら[R]キーを押しても代用できます。

- ロップアイル名を指定して実行			
	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インタ ネットリソース名を入力してください。	-	
名前(<u>O</u>):	gpedit.msc	~	
	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)		

2. ファイル名を指定して実行の画面が表示されますので、(gpedit.msc) と入力し(OK)を選択します。

 (ローカル グループポリシー エディター)画面が表示されますので、 該当の項目を2か所変更します。

1か所目 (コンピューターの構成) (管理用テンプレート) (ネットワーク) (Lanmanワークステーション)

右側のリストから(安全でないゲスト ログオンを有効にする)を選択して、展開します。



(有効)をチェックし、(OK)を押します。

戅 安全でないな	「ストログオンを有効にする	—	<
📆 安全でない!	「スト ログオンを有効にする	前の設定(P) 次の設定(N)	
○ 未構成(C)	コメント:		
◯ 有効(E)			
○ 無効(D)	サポートされるバージョン:	Windows Server 2016 以降または Windows 10 以降	▼ ▲ ▼
オプション:		ヘリレブ:	
		Cのポリシー設定では、SMB クライアントが SMB サーバーへの安全でない ゲスト ログオンを許可するかどうかを決定します。 Cのポリシー設定を構成しなか った場合、SMB クライアントは安全でないゲスト ログオンを許可します。 Cのポリシー設定を構成した場合、SMB クライアントは安全でないゲスト ログオンを指否します。 安全でないゲスト ログオンがファイル サーバーによって使用されるのは、共有 フォルターに対する認証されていないアクセスを許可することが目的です。I ンターフライズ環境では一般的ではありませんが、ファイル サーバーとして動 作しているコンシューマーNAS (キットワーク接続ストレージ) アブライアンスで は、安全でないゲスト ログオンが頻繁に使用されています。Windows ファ イル サーバーでは認証を要求し、既定では安全でないゲスト ログオンを使 用しません。安全でないゲスト ログオンは要定されていないため、SMB 署 名、SMB 暗号化などの重要なセキュリテイ機能が無効になります。結果と して、安全でないゲスト ログオンは読明ではあります。結果と して、安全でないゲスト ログオンを許可するクライアントは、さまざまな man-in-the-middle 攻撃に対して脆弱になり、デーク月吸く損失、デークの破損 、マルクエアに対するリスクにつながる可能性があります。また、安全でない OK キャンセル 遮用(A)	

2か所目

(コンピューターの構成)

(Windowsの設定)

(セキュリティの設定)

(ローカルセキュリティポリシー)

(セキュリティオプション)

右側のリストから(Microsoftネットワーククライアント:常にデジタル署名を行う)

を選択して、展開します。

※無効になっている場合は、変更の必要はありません。



(無効)をチェックし、(OK)を押します。

4. PCの再起動を実施し、共有フォルダにアクセスできるか確認します。

5. アクセスできない場合は、他の要因が考えられますので、弊社へご依頼下さい。